

## A タイヤとチューブ

各部の名称



リムに刻印されているサイズを確認し、バルブが英式・米式・仏式のいずれか確認してから選んでください。商品は表面のラベルで確認下さい

バルブは3種類有ります ★このチューブのバルブ形状は表のラベルに記載しています



## B ⚠️ 作業前に 必読

■タイヤにキズが無いが ■チューブは穴が開いていないか水の中に入れて確認してから作業してください。

取付後の発見は大変面倒です。又、取付後のご返品はお受け致しかねますので、ご注意ください。

チューブに穴を開けないために

●チューブの挿入後タイヤのはめ込み時は工具を使用しないで下さい。

●タイヤレバーはタイヤを外す時に使用します

注意  
タイヤをはめる時は手で  
(工具を使用するとチューブに穴があく可能性があります)

## チューブの交換

代表的な バンク修理方法



1 左図のようにタイヤレバーをリムとタイヤの間に差し込み、スポークに掛けもう1本のタイヤレバーでおこします。



2 タイヤとリムの間に指を入れ、車輪を回しながらタイヤを外します。

タイヤレバーははめる時使用不可



3 タイヤチューブを取り出し、もう一度空気を入れ、左図のように水の中につけてバンクしている箇所を探します。



4 バンク箇所を見つけたら、よく乾かしサンドペーパーでやや広めにこすりざらざらにします。そのあとスポンジ等でホコリを払っておいてください。



5 4 でざらざらにした箇所にゴムのりを薄くおろさず塗り、2~3分待ちます。

乾燥しないと貼り付きません



6 パッチの紙をはがし内側をバンク箇所の中心に貼り付けます。※フィルムは付いた状態で作業を続けます。

銀箔を剥がした面を穴部に貼ります



7 貼り付けた後、十分に接着させるため、木づちなどで軽く叩いておきます。

※フィルムを剥がしてください

たたき過ぎると破れます



8 修理の終わったタイヤチューブをリム内に納めるには空気バルブをリムに止めてから少量の空気を入れて作業するとスムーズに納まります。

バンク修理に必要なアイテム

●パッチ ●ゴムノリ ●空気入れ

○サンドペーパー (パッチの圧着面を鈍器にする事で強く貼りつきます)

○木づち (強くたたくとチューブを破損させます)

○タイヤレバー (タイヤを外す時に利用すると簡単に外れます)

ゴムノリ使用時の誤解 接着剤ではなく乾燥させて利用します！

タイヤのひび割れは空気圧不足と紫外線が原因です。

タイヤに記載されている気圧まで空気を入れてください。  
自転車を日光のあたる場所に長時間放置しないでください。